

編集後記

- ◇ 新型コロナウイルスのオミクロン株は、年明け以降に信じられないほどの速度で全国に拡散し、第6波の収束はいまだに先が見えない状況にある。切り札とも言える3回目のワクチン接種が速やかに進み、一日でも早く安心な生活に戻れることを祈りたい。
- ◇ サツマイモ基腐病も1月には徳島県で発生が報告されるなど、気の抜けない状態が続いている。本号では、令和3年末に開催した第2回情報交換会の概況をレポートしたが、発生地においても防除の3原則にきちんと取り組めば、それなりに被害を抑えられることが報告されている。令和4年産に向けて、改定された対策マニュアルを参考とした全国的な取り組みの徹底が望まれる。
- ◇ 我が家では20坪ほどの菜園に、十数年にわたってサツマイモとジャガイモを輪作してきた。ジャガイモは、本来であれば数年あけるのが好ましいが、狭い菜園でそうもいかず、野菜やエンバクを間作に入れ、落ち葉と米ぬかで堆肥を作るなどして凌いできた。しかしながら数年前にから「そうか病」が激発するようになり、農作物の栽培の基本の何たるかを実感している次第である。
- ◇ いも類という言葉は、学術的、あるいは行政的な用語であろうが、普通に「おいも」と言った場合に想起されるのはジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、ヤマイモあたりまでだろうか。しかし現在、国内ではコンニャクイモ、キクイモ、ヤーコン、アピオスなど様々な「おいも」が栽培されている。「おいも」の世界は実に多様であり、興味は尽きない。
- ◇ いも類振興情報は、昭和59年の創刊以来、体裁や収録内容を改善しながら約40年にわたり様々な「いも類情報」を掲載してきた。151号では、新たな試みとして行政情報、統計情報のコーナーを設けている。年4回の季刊詩ゆえに、タイミングの難しさはあるが、今後とも読者の皆様に最新の情報をお届けしたいと考えている。また、現在、過去のバックナンバーのオンラインでの閲覧は、95号以降に限定されているが、本年度中には創刊号から94号までを含めて全て公開できるよう検討しているので期待願いたい。

(矢野 哲男)

いも類振興情報 第151号
2022(令和4)年4月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会
〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社